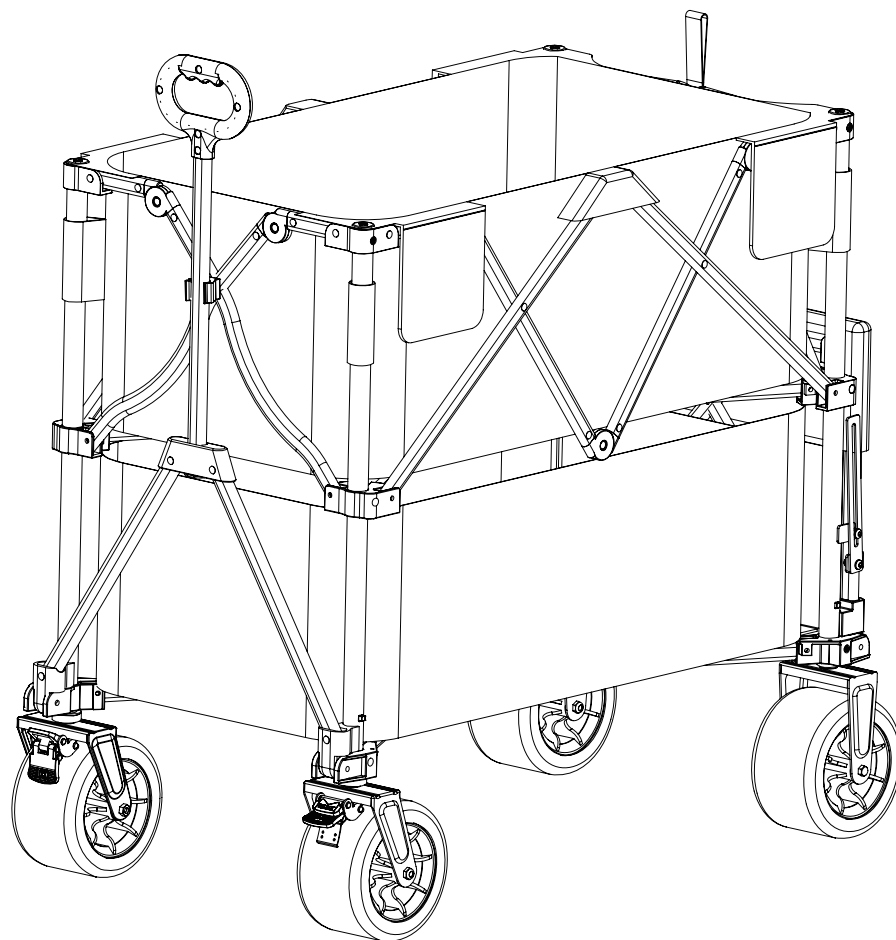


キャリーワゴン

LS-YX-Z02C



Ver.6

 Lysin

目次

ご注意	02	ハンドルの戻し方	08
警告	03	タイヤの外し方	09
セット内容/各部名称	04	たたむ前に	09
本体の開き方法	05-07	本体のたたみ方	10
荷台について	07	ベルトの付け方	11
ブレーキロックについて	08	カバーの外し方	裏表紙
		お手入れ方法	裏表紙

ご使用になる前に

このたびは、ご購入いただきありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、この説明書をよく読んでからご使用ください。

ご注意

- ・本製品は運搬用です。それ以外の用途でのご使用はしないでください。
- ・初めての時や慣れない場合は、安全のために手袋を着用して作業を行ってください。
- ・安定した地面の上で使用し、不安定な場所(坂道など)での使用はしないでください。
- ・凍結している、濡れているなど滑りやすい場所での使用はしないでください。
- ・貴重品や壊れやすいもの、高温のもの、火気が発生する恐れのあるものはワゴン内に入れしないでください。
- ・耐荷重以上の荷物を載せないでください。本体の変形や損傷、ケガの原因となります。
- ・付属部品以外のパーツは使用しないでください。
- ・直射日光が当たる場所、高温多湿な場所や屋外には保管、放置しないでください。製品の劣化、破損の原因となる恐れがあります。
- ・火に近づけたり、火の気のある場所には放置・置かないでください。また、極端に熱せられる場所は避けてください。部品が変形したり、溶けたりする恐れがあります。
- ・ご使用になる前に、必ず本製品の部品の緩みがないか破損や亀裂がないか等確認してください。異常がある場合は危険ですので、絶対に使用しないでください。
- ・お子様の遊び道具としてのご使用は危険ですのでしないでください。
- ・本製品を改造などしないでください。むやみに改造したりすると、不具合の原因となる恐れがあります。
- ・お客様のお取り扱い不注意、改造等により不具合が生じた場合、お客様責任となります。
- ・使用後はそのまま保管せずに汚れ(水や砂、土など)を落として、完全に乾燥させてください。濡れたまま保管すると色移りやカビ・腐食の原因となります。
- ・幼児や小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
- ・長期間使用しなかった場合は、製品に異常がないかよく確認してください。
- ・本製品の所有者は、使用前に全ての使用者が全ての警告及び注意をよく理解していることを確認する責任があります。
- ・当製品をご使用上発生した故意又は過失による損失及び損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご承知おきください。
- ・この説明書を紛失しないよう保管してください。

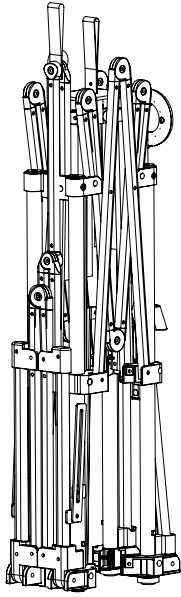
警告

- ・組み立てやたたむ際にフレームの間に指や手などを挟まないようにご注意ください。
- ・最大耐荷重量以内であっても人やペットは乗せないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- ・使用の際は荷崩れしないようにしっかりと固定させてください。また、運搬の際は乱暴な走行・扱いはしないでください。破損やケガの原因になります。
- ・本製品を置く場合は、必ずロックをしてください。ロックをしないと事故やケガに繋がる恐れがあります。

セット内容

商品が届きましたら、不備がないか必ず確認してください。

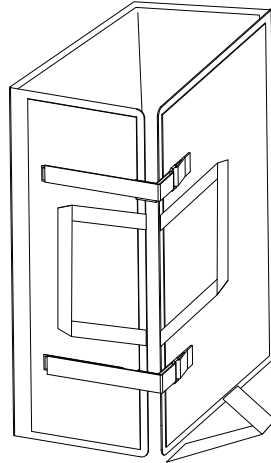
A



本体 × 1

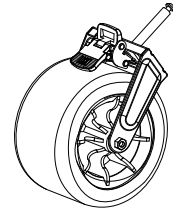
B

※本体に付属している場合があります。



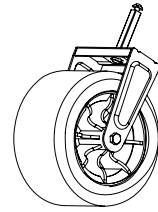
底板カバー × 1

C



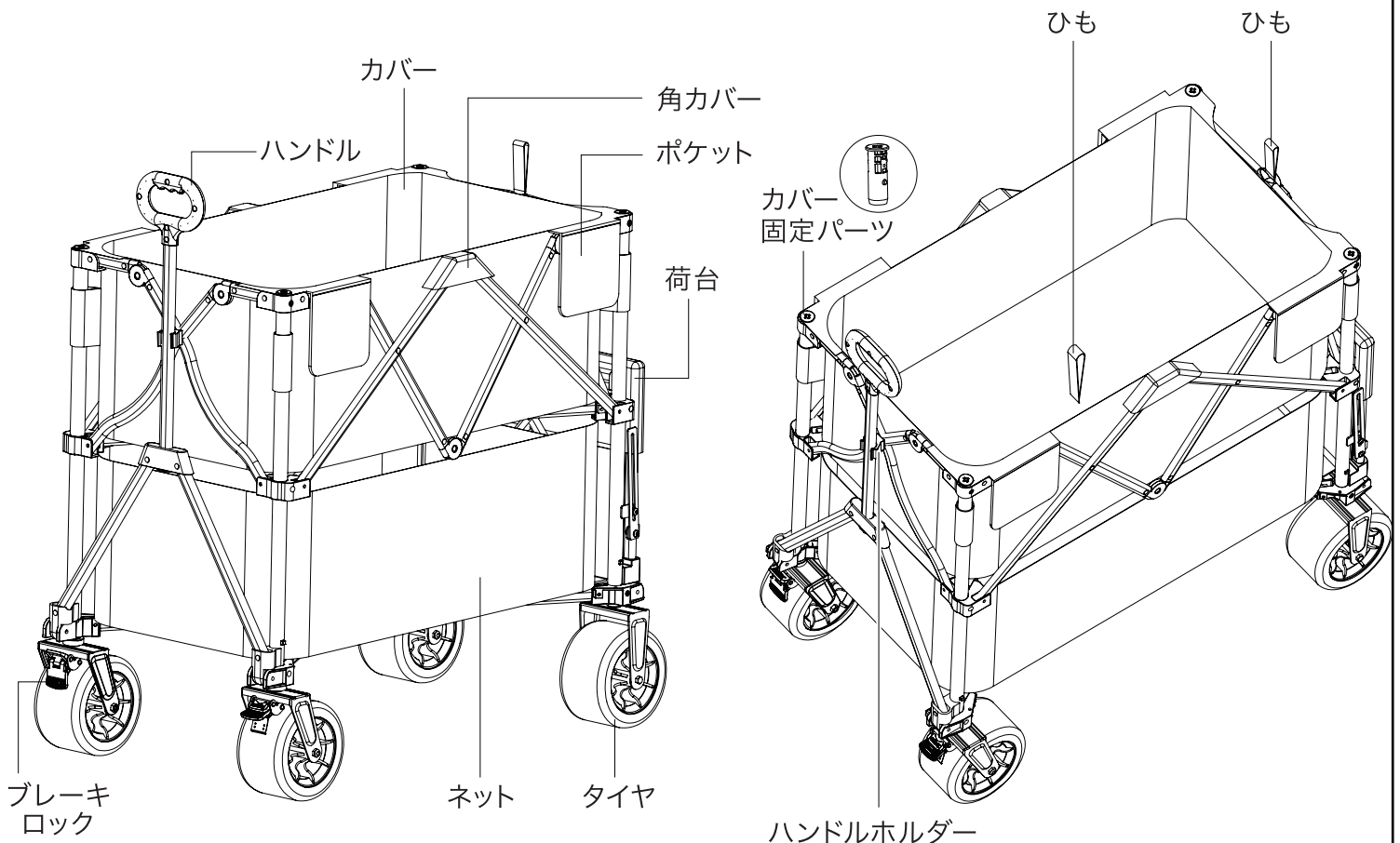
ロック付きタイヤ × 2

D



タイヤ × 2

各部名称

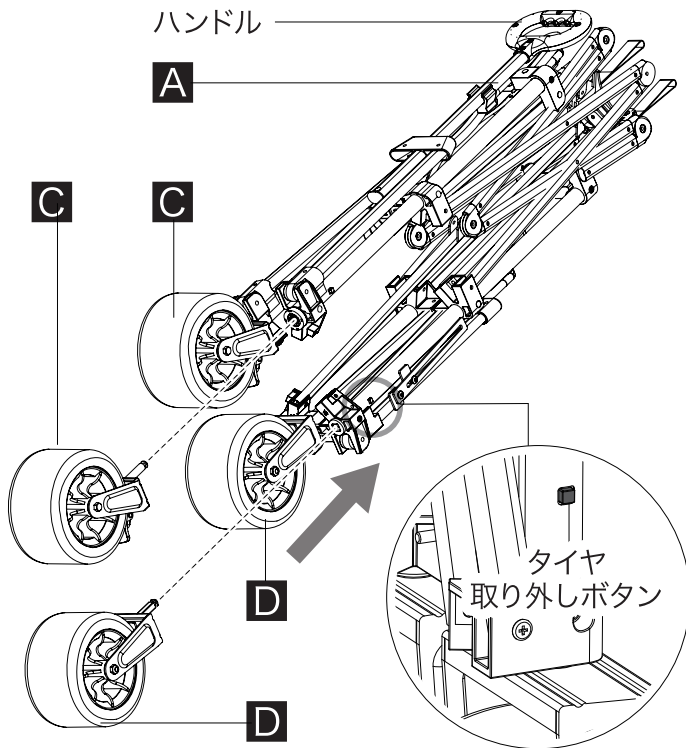


本体の開き方法

手を挟まないように本体を開いてください。



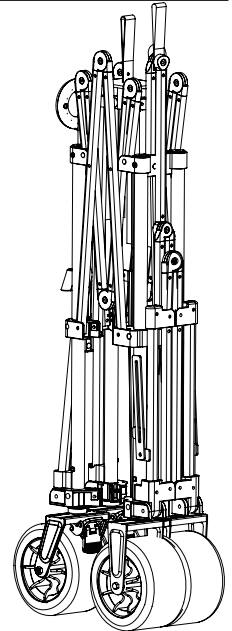
- 1** 底板カバーを外し、本体にタイヤ(計4つ)を取り付けます。タイヤがロックされている場合は、ロックを解除してください。→ 08ページの「ブレーキロックについて」を参照。パーツの種類、取り付けの向き等に気をつけてください。取り付け後は、タイヤを引っ張りしっかり差し込んであることを確認してください。



パーツの種類、取り付けの向き等に注意

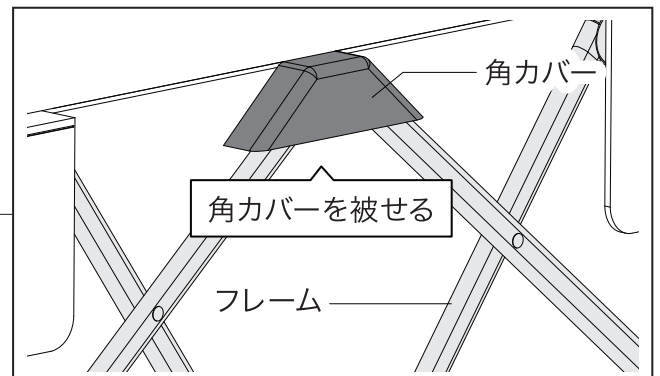
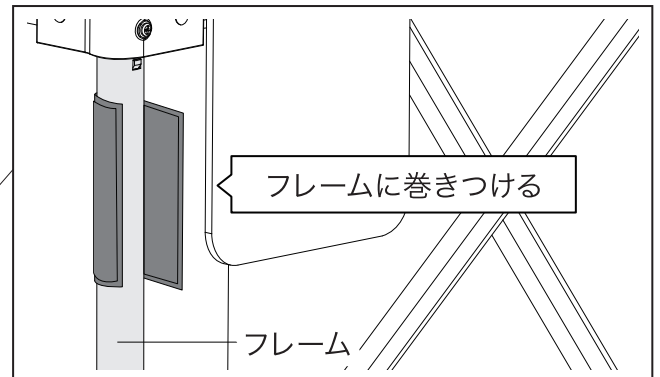
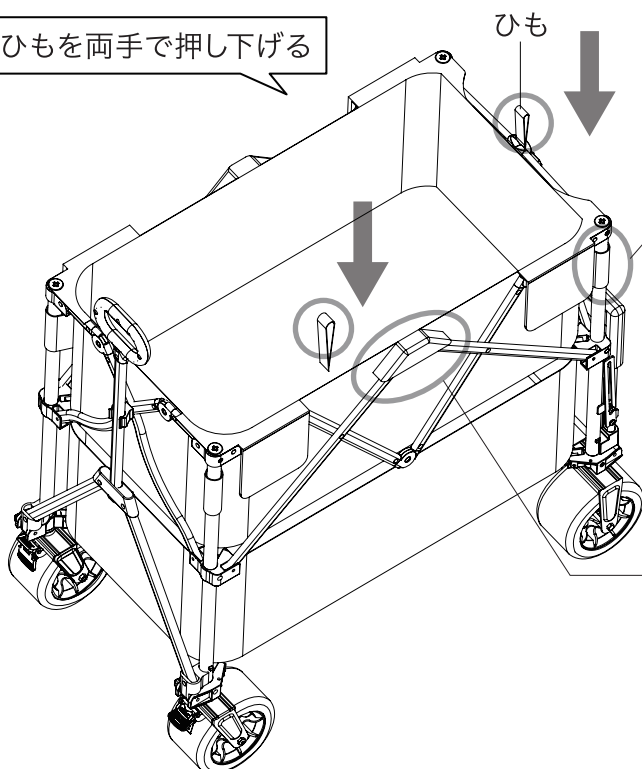
タイヤのホイールは外側を向くように

ハンドル側に
ロック付きタイヤを
取り付ける

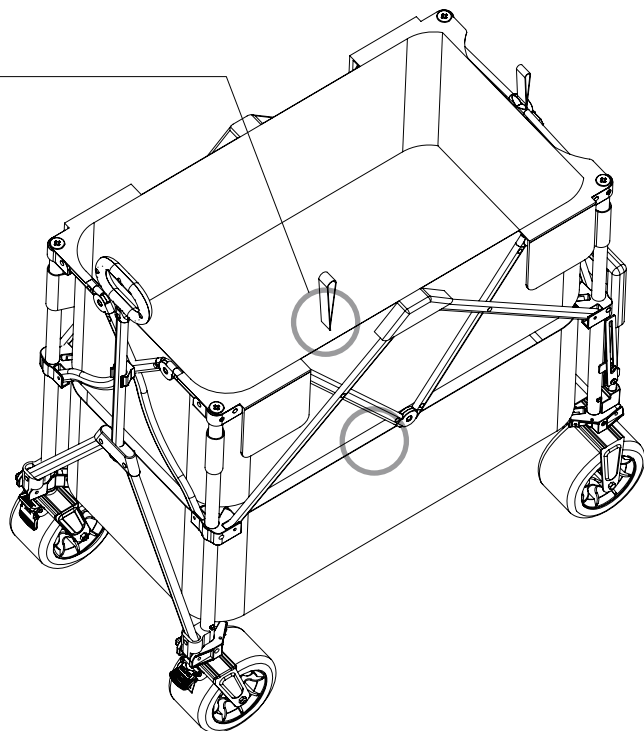
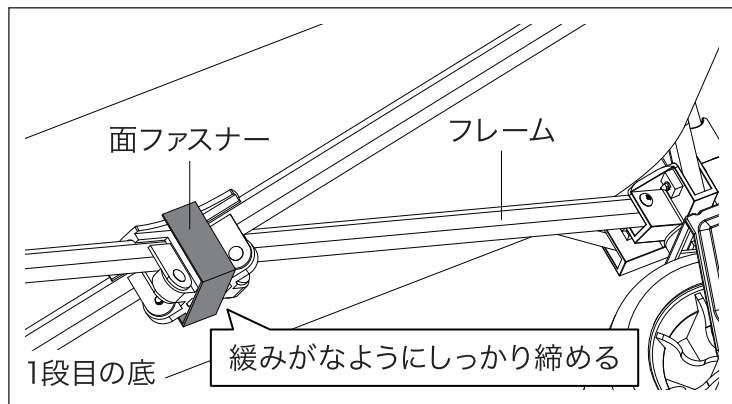
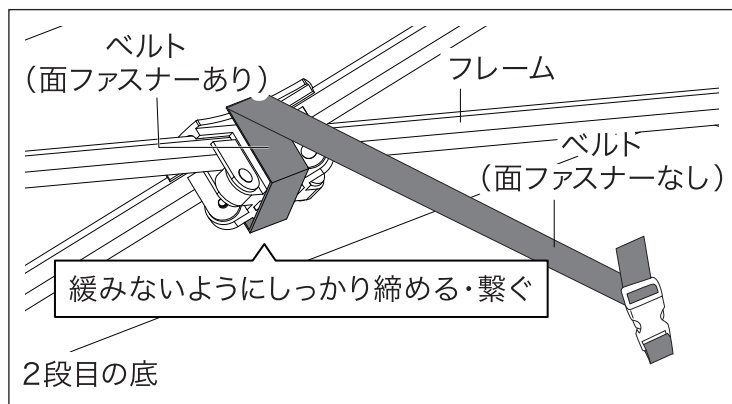


- 2** 本体を開きます。本体についている2つのひもの位置に手を置き、両手で同時にひもを押し下げます。この時に指や手を挟まないように注意してください。本体にカバーがついていない場合は、カバーをフレームに巻きつけ、フレームの角を角カバーで被せます。

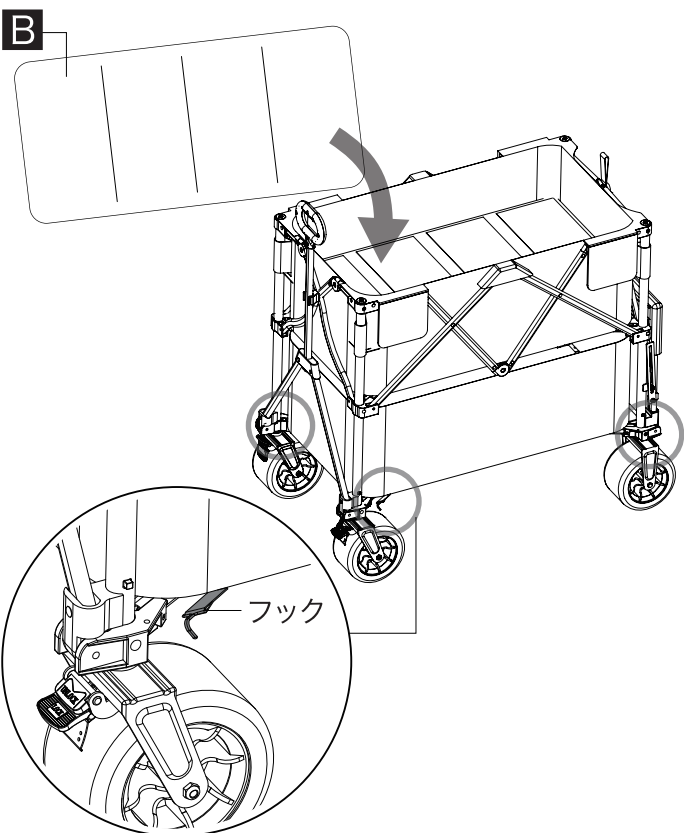
ひもを両手で押し下げる



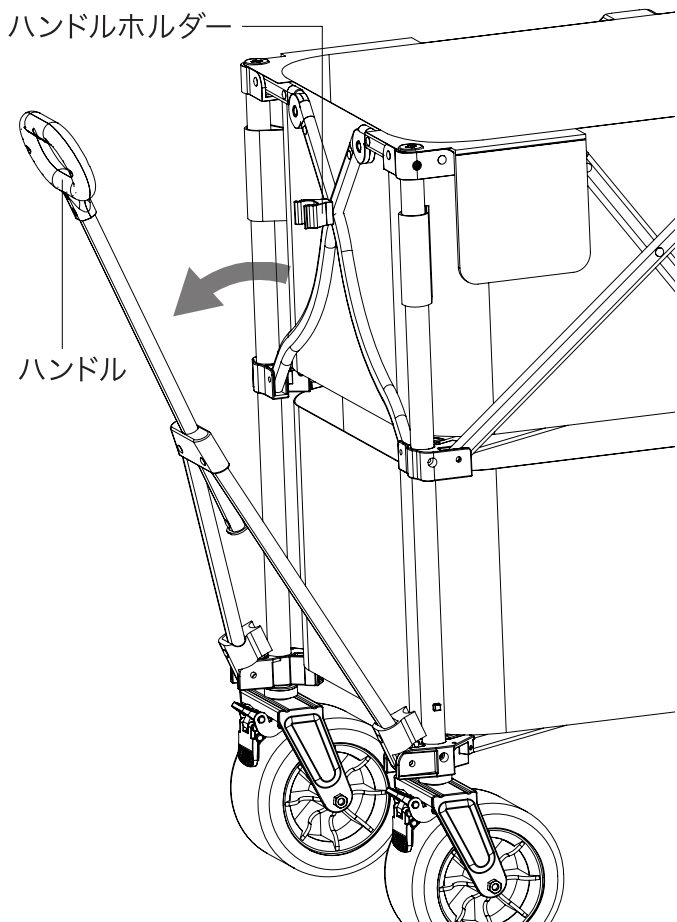
3 本体の1・2 目の底(計3箇所)に緩みやベルトでしっかり繋がれているかを確認します。緩みがあった場合は、面ファスナーを締めて緩みがないようにしてください。また、ベルトが繋がっていない場合は繋いでください。→11ページ「ベルトの付け方」を参照。



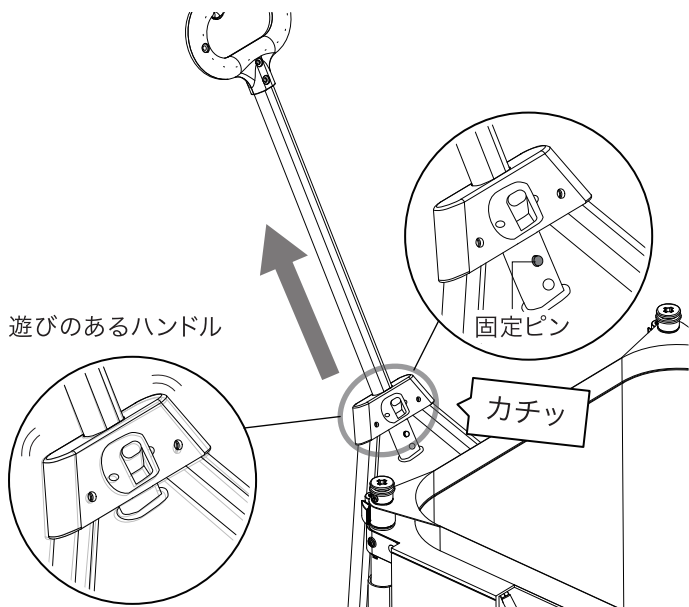
4 底板カバーを本体に入れます。何もついていない面を裏にしてください。ネットのフック(4箇所)が穴に引っかかっていることも確認してください。



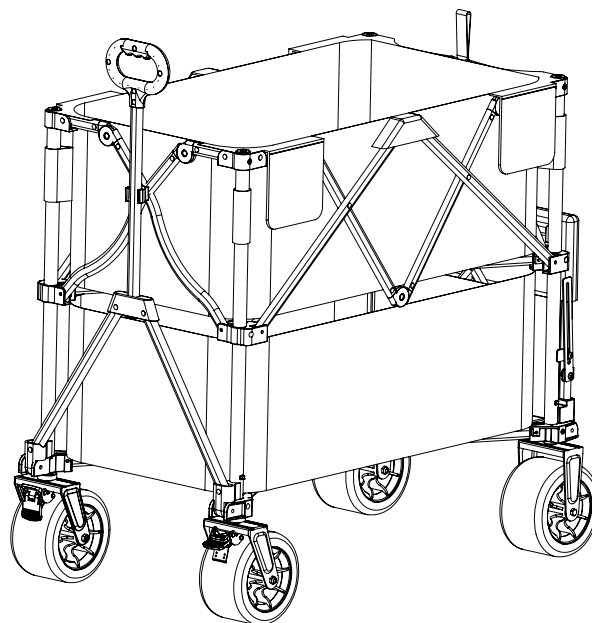
5 ハンドルをハンドルホルダーから外してください。



6 カチッと鳴るまでハンドルを引き上げます。引き上げた時に固定ピンが見えなくなるまで上げてください。方向転換しやすいようにハンドルと本体の接続部分には遊びがあります。不良品ではありませんの安心ください。

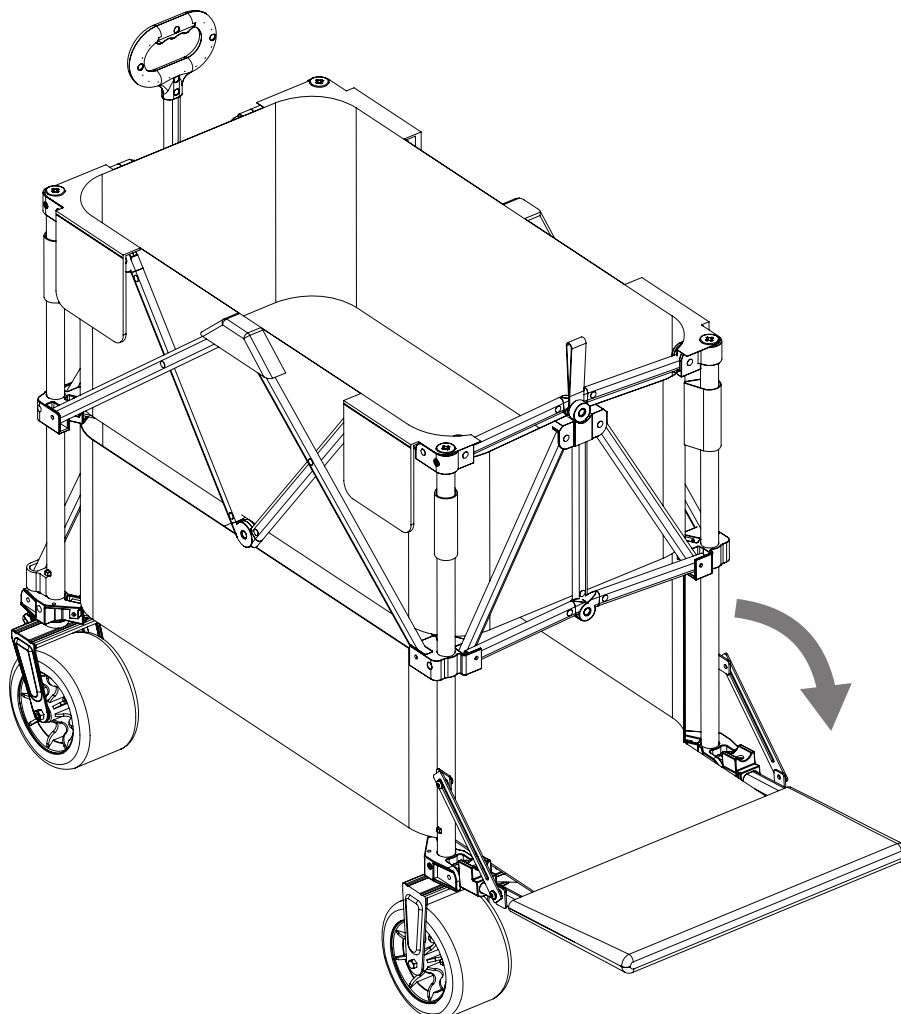


7 お好みで1段目のフレームを下ろしてください。「1段目の開閉について」を参照。



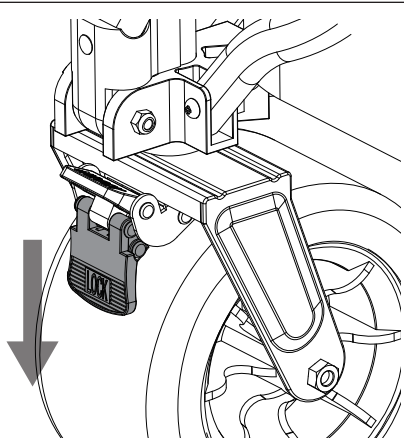
1段目の開閉について

後ろの面ファスナーを外し、フレームを下ろしますと長い荷物を入れることができます。

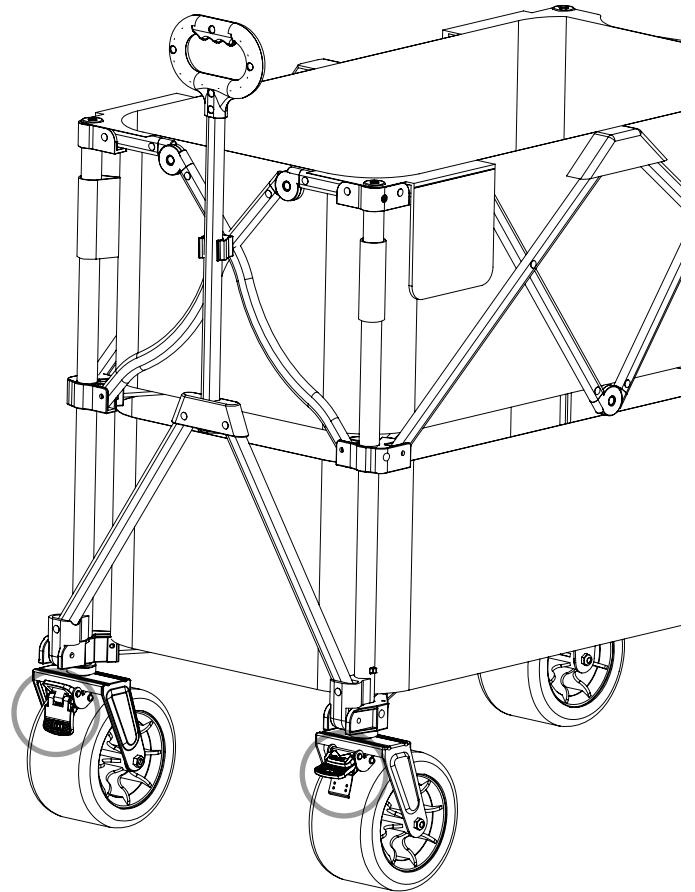
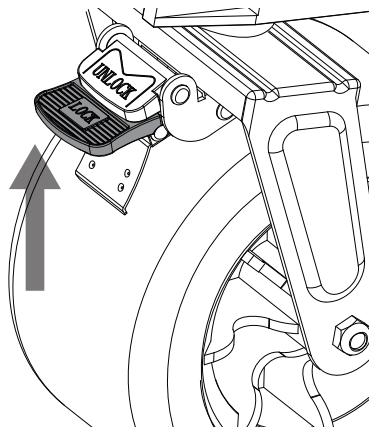


ブレーキロックについて

ロックの状態
レバーが下がっている。

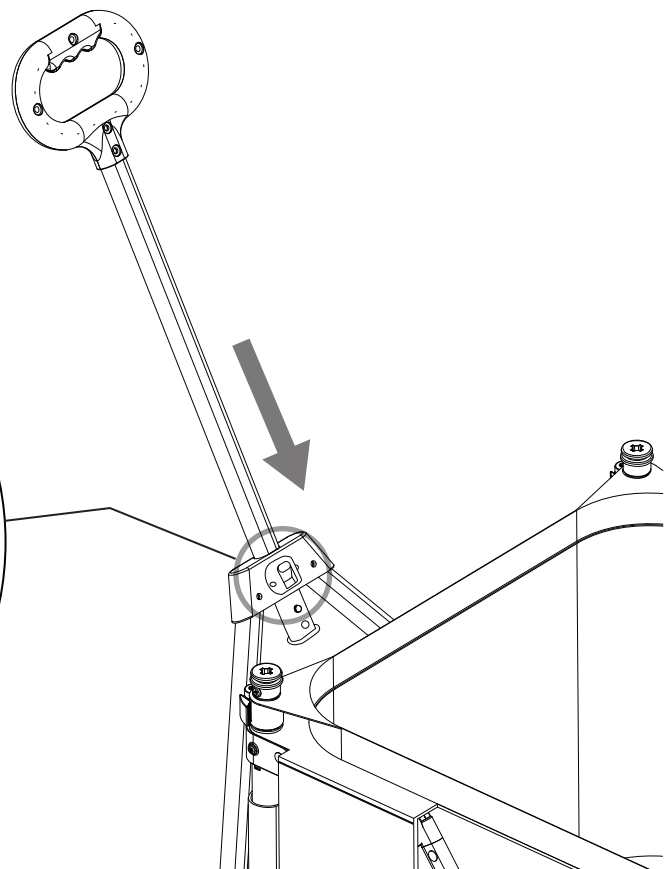
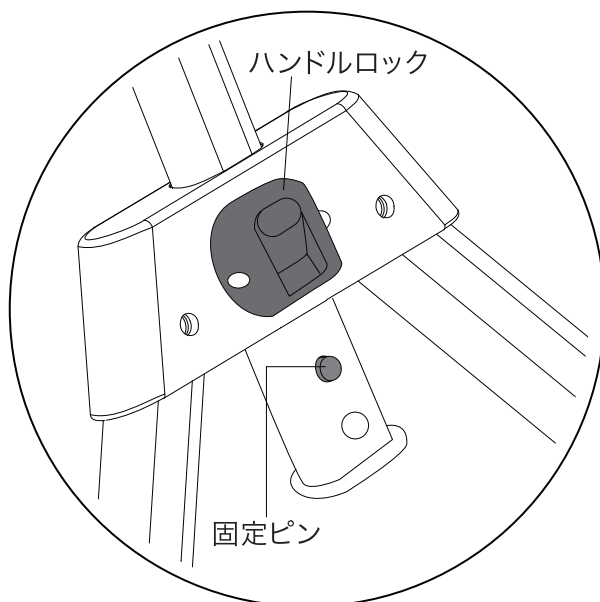


ロック解除の状態
レバーが上がっている。

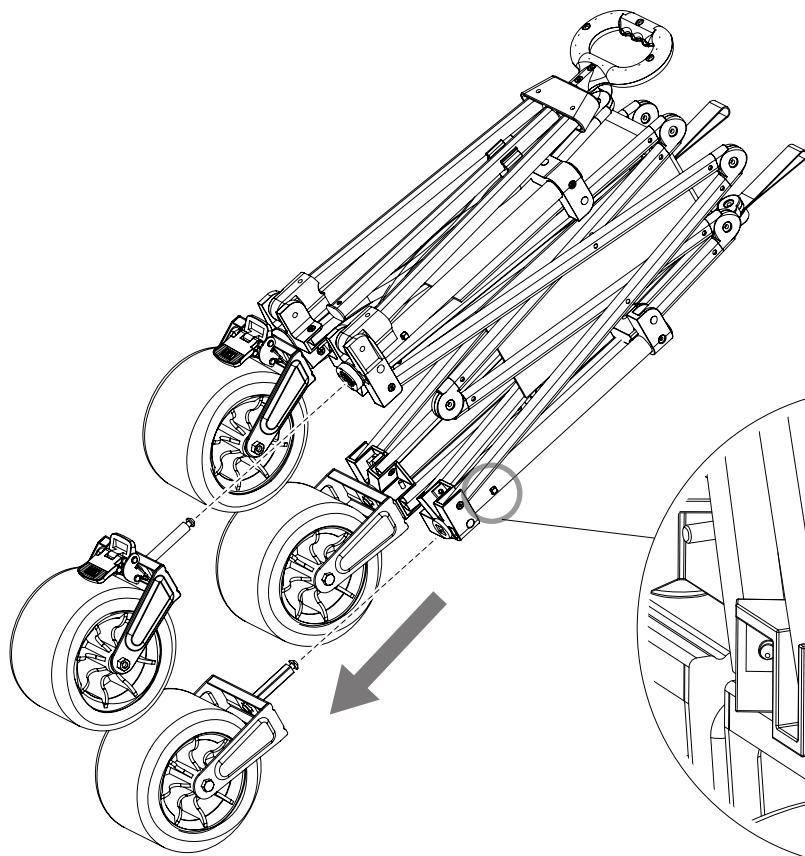


ハンドルの戻し方

ハンドルロックを押しながらハンドルを下げます。固定ピンが見えるまで下げてください。



タイヤの外し方

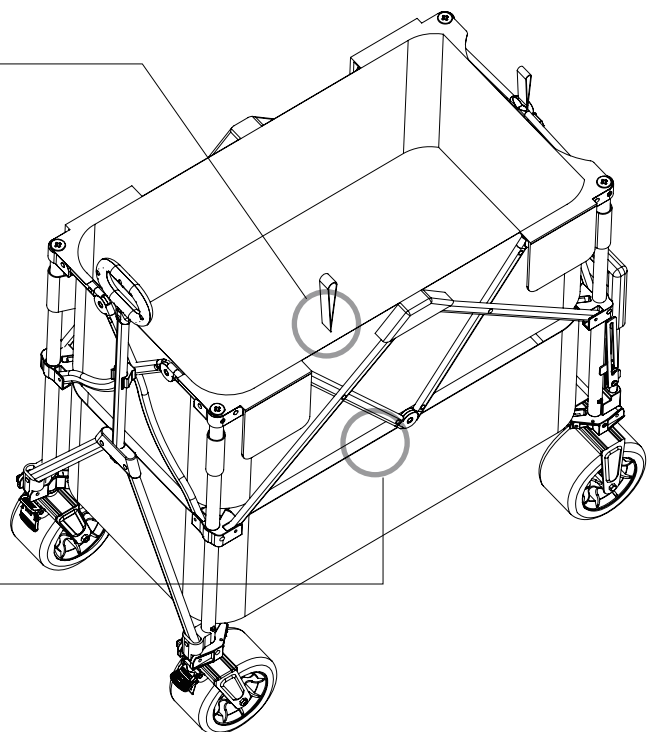
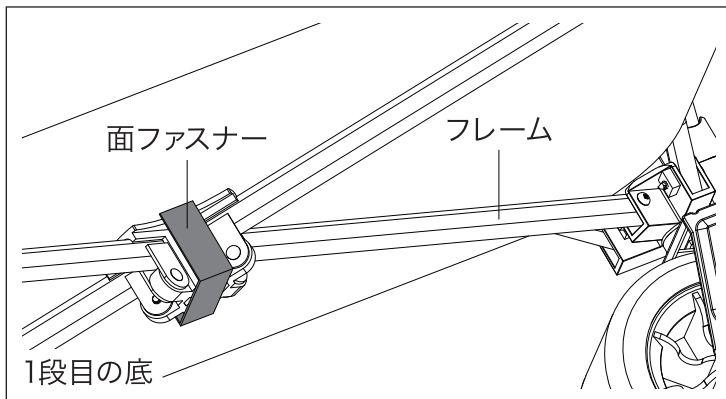
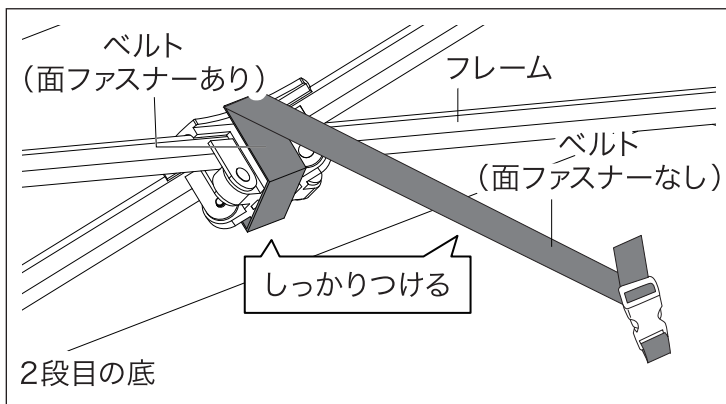


タイヤ取り外しボタンを押しながらタイヤを取り外します。

タイヤ
取り外しボタン

たたむ前に

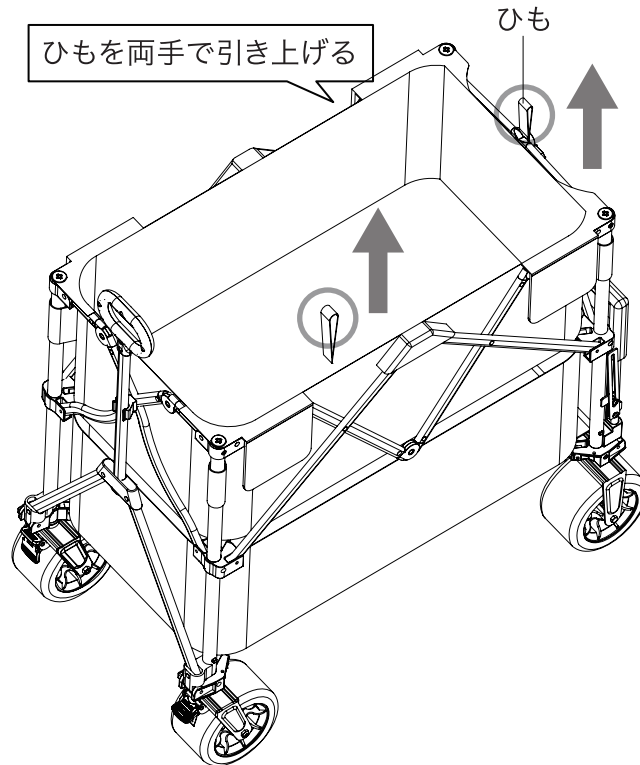
本体フレームとカバーをしっかりとつけないと正しくたためなくなりますのでたたむ前に確認してください。



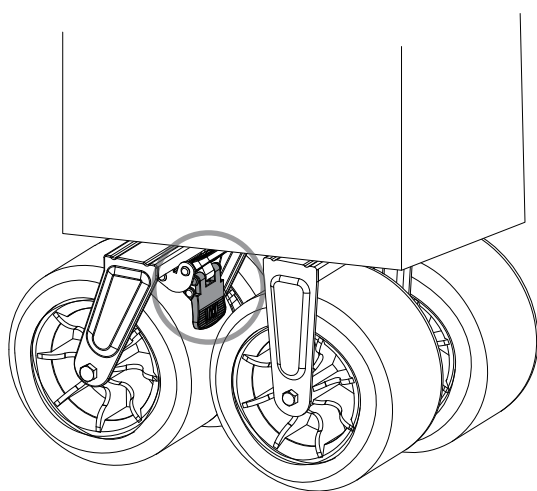
本体のたたみ方

タイヤを取り外した状態でたたみたい場合は、底板カバーを巻きつける前にタイヤを取り外してください。→09ページの「タイヤの外し方」を参照。

- 1** ハンドルを下げ、底板カバーを取ります。本体についている2つのひもの位置に手を置き、両手で同時にひもを引き上げます。この時に指や手を挟まないように注意してください。

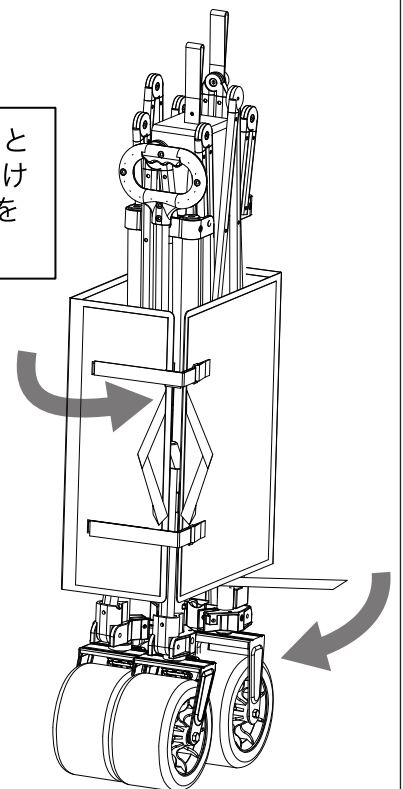


- 2** 底板カバーを本体に巻きつけベルトでとめます。この時、動かないようにタイヤをロックしてください。タイヤのロックが内側にくるように巻きつけますと巻きつけやすくなります。



1. タイヤをロックする
2. ロックが内側になるようにタイヤの向きを変える

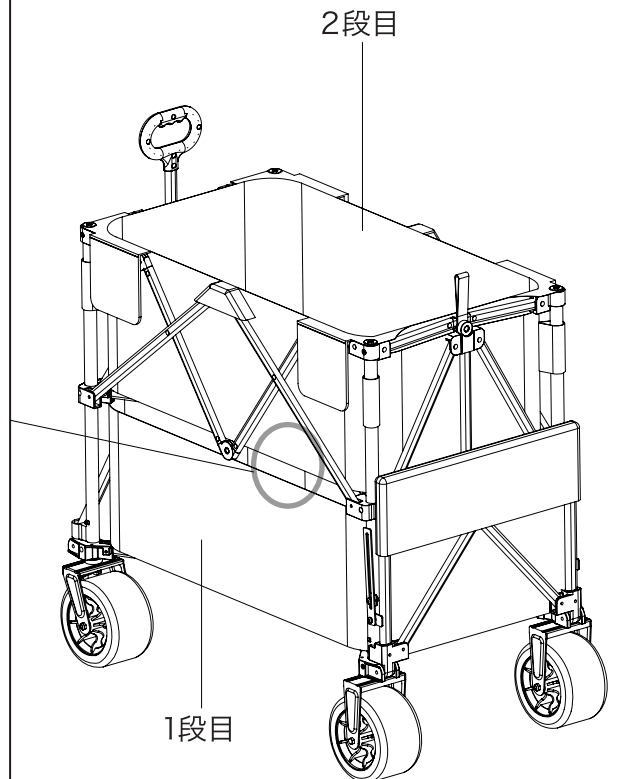
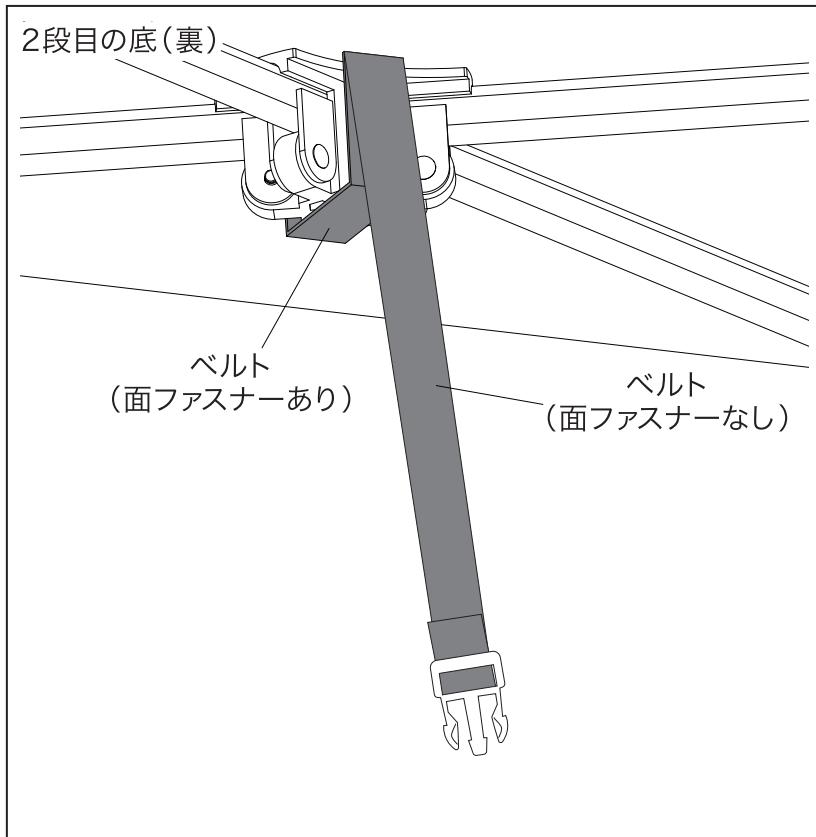
上にカバーを巻きつけると落下防面ファスナーがつけられません。下にカバーを巻きつけてください。



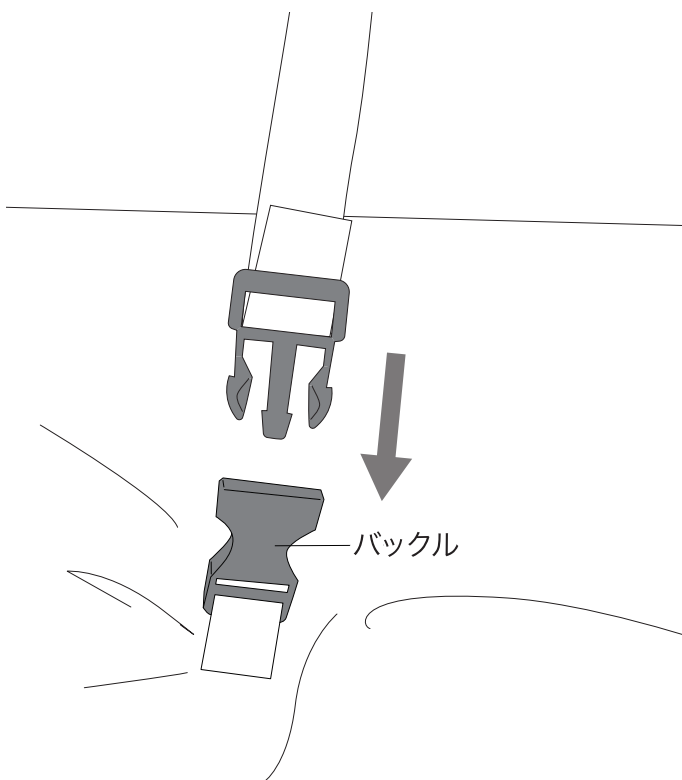
ベルトの付け方

本体とベルトをしっかり繋がないと正しくたためませんのでたため際は必ず繋いでください。

- 1** 1段目と2段目の底をベルトで繋ぎます。2段目の底についているベルト（面ファスナーあり）2本を本体に巻きつけます。

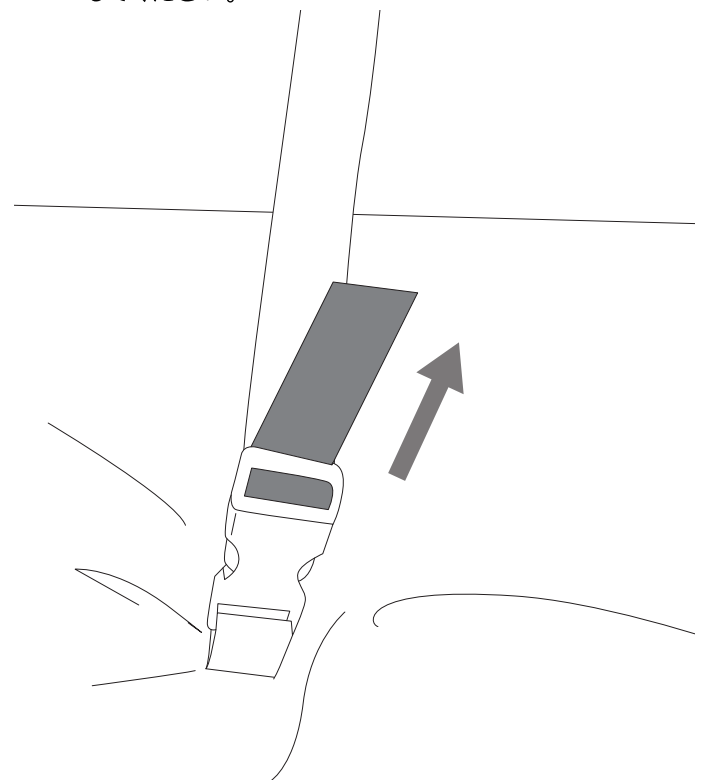


- 2** ベルト（面ファスナーなし）を1段目についているバックルと繋ぎます。



1段目の底(表)

- 3** バックルを繋げた後は、ベルト（面ファスナーなし）の長さを調節してください。この時に緩みがないように調節してください。



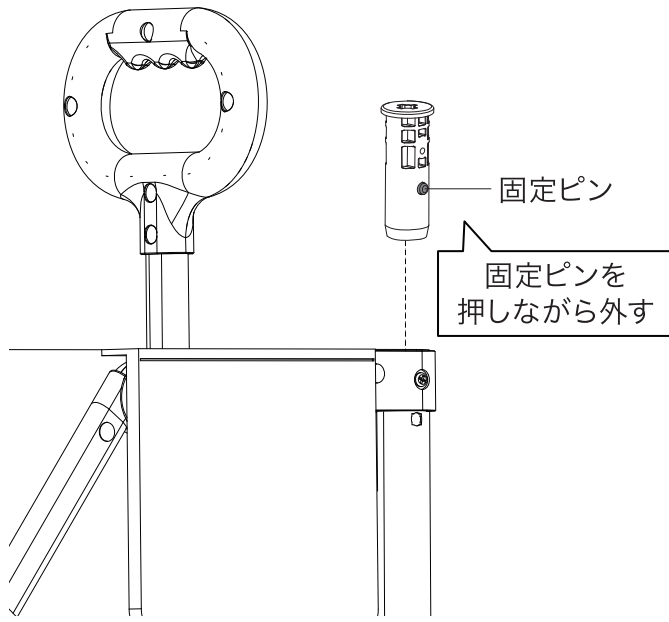
カバーの外し方

1・2段目のカバーを取り外し、洗うことができます。→「お手入れ方法」を参照。

2段目

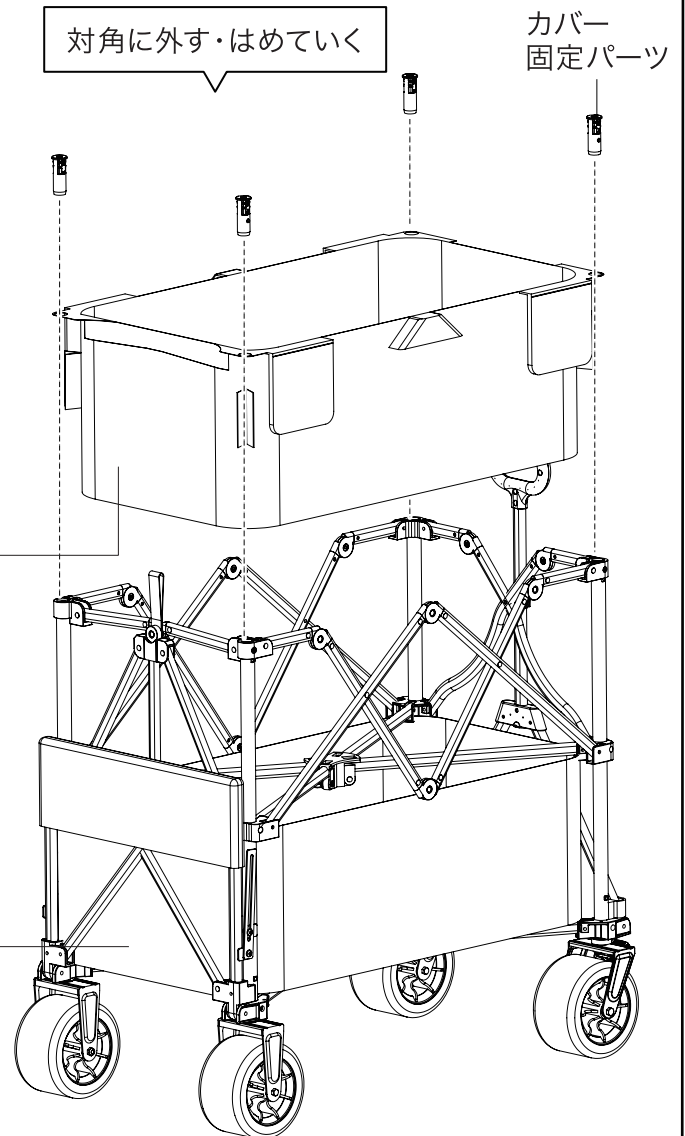
1 面ファスナー、1段と繋がっているバックルを外します。

2 カバー固定パーツにある固定ピンを押しながら外します。この時に対角に外していくとスムーズにパーツを外すことができます。



1段目

1段目のカバーは、面ファスナー・フックで取り付けられているので外してください。



お手入れ方法

カバーは外して洗うことができます。カバーの汚れを落とす際は、ブラシを使用し擦って水洗いすることを推奨いたします。

1. ブラシで擦って水洗いをする (洗剤不可)
2. 水気をよく切って風通しの良い日陰でよく乾かす
(濡れたまま放置しますとサビなどの原因になる可能性があります)

 ライシン株式会社

〒327-0812 栃木県佐野市町谷町293-4 | TEL:0283-85-8377 FAX:0283-85-8378 E-Mail:support@lysin.jp

※お手数ではございますが、部品が足りない場合や商品が破損していた場合は、商品受領後1週間以内にご連絡ください。